

長久保

小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

| 領域 | 対象 | 質問項目 | 評価結果 | 評価・考察 |
|-------------|-----|-----------------------------------|-------------------------------------|---|
| 学校教育目標・教育方針 | 教職員 | ①私は、学校教育目標や教育方針を理解し、達成できるよう努めている。 | <p>①63% ②32% ③5%</p> <p>④0% ⑤0%</p> | <p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校教育目標を知っている」の保護者の評価で「知っている」が低い。年度当初の懇談会で話しているが、それ以降に話をする機会はないので浸透するまでには至っていないのではないかな。 ・そもそも学級目標や個人目標が各個人の中に浸透しているのか。教室に掲示してあるだけになっていないのか。 |
| | 児童 | ①私は、学級目標や個人目標を達成するために努力している。 | <p>①37% ②51% ③10% ④2% ⑤0%</p> | <p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育目標については、学年当初の懇談会等で保護者にしっかり伝えるとともに、学校だよりやホームページを駆使して積極的に周知する。 ・児童においては、まず学級目標が全員に浸透するよう、朝の会等の時間を使って確認することを繰り返し行う。個人目標については適宜振り返りの時間をとり、自分の目標や達成度を確認できるようにする。 |
| | 保護者 | ①私は、学校教育目標や教育方針を知っている。 | <p>①19% ②56% ③23% ④2% ⑤0%</p> | <p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・懇談会、学校だより等だけでなく、普段保護者が見るのはC4thのメールなのだから、学校教育目標や教育方針などもメールで送信すればいいのではないかな。 |
| | 地域 | ①私は、学校教育目標や教育方針を理解している。 | <p>①33% ②67% ③0% ④0% ⑤0%</p> | |

長久保

小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

| 領域 | 対象 | 質問項目 | 評価結果 | 評価・考察 |
|------|-----|---------------------------------|-------------------------------|--|
| 学級経営 | 教職員 | ②私は、児童のよさや可能性を發揮できる学級経営を行っている。 | <p>①32% ②63% ③5% ④50% ⑤0%</p> | <p>評価結果についての分析・課題</p> <p>・児童が「楽しいと感じている」で「そう思う」が半数を超えており、肯定的な評価は91%であることが何よりうれしい。ただ、否定的な評価の児童が9%、保護者が10%であることを肝に銘じ、これが0%になることを目指していきたい。</p> |
| | 児童 | ②私は、学級での生活が楽しいと感じている。 | <p>①53% ②38% ③7% ④2% ⑤0%</p> | <p>課題解決への方策</p> <p>・児童一人一人に一層目を向け、よさや可能性を見逃さない学級経営や場づくりに努める。</p> |
| | 保護者 | ②学校は、児童のよさや可能性を發揮できる学級づくりをしている。 | <p>①42% ②48% ③8% ④2% ⑤0%</p> | <p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>・保護者の評価が低い。子ども達はがんばっていて、自分たちの評価も高いのだから、それをもっと伝えていくといいのではないかな。 ・(学級での生活が)「楽しいと感じていない」と答えている子に対しては、そう感じている理由を追求してみるといいのではないかな。</p> |
| | 地域 | ②学校は、児童のよさや可能性を發揮できる学級経営を行っている。 | <p>①33% ②67% ③4% ④50% ⑤0%</p> | |

長久保

小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

| 領域 | 対象 | 質問項目 | 評価結果 | 評価・考察 |
|------|------|--|-------------------------------|--|
| 学習指導 | 教職員 | ③私は、児童が意見を主体的に発表したり、他者の意見を聞いたりして学びを深める授業を実践している。 | <p>①37% ②37% ③26% ④0% ⑤0%</p> | <p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童や保護者の評価からも学校全体で取り組んできた「学び合い学習」の成果が表れてきているといえる。 ・教職員の評価を見ると児童や保護者の評価より低い。自分たちに対して厳しめの評価をしているもととらえられるが、「もっと学びを深める授業ができるはず」と考えた結果ともいえる。 |
| | 児童 | ③私は、自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりして、いろいろな考えにふれながら勉強している。 | <p>①45% ②43% ③11% ④1% ⑤0%</p> | <p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校全体での「学び合い学習」の研修を積極的に進め、授業研究会を計画的に実施しながら教職員一人一人の指導力を高める。 ・「学び合い学習」の目的や成果について保護者や地域の方にも積極的に伝えていく。 |
| | 保護者① | ③学校は、児童が自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりして、いろいろな考えにふれる授業をしている。 | <p>①58% ②38% ③3% ④1% ⑤0%</p> | <p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(学校評価全体を通して言えることだが)教職員の評価が控えめに評価しているように感じる。授業の様子を参観していても、もっと自信をもって評価してもいいのではないか。 |
| | 地域 | ③学校は、児童が自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりして、いろいろな考えにふれる授業をしている。 | <p>①67% ②33% ③0% ④0% ⑤0%</p> | |

長久保

小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

| 領域 | 対象 | 質問項目 | 評価結果 | 評価・考察 |
|------|-----|---|--------------------------------|--|
| 学習指導 | 教職員 | ④私は、学習目標達成のために学習用端末や大型モニタ等のICT機器を活用して、わかりやすく工夫した授業を行っている。 | <p>①42% ②32% ③26% ④50% ⑤0%</p> | <p>評価結果についての分析・課題</p> <p>・児童や保護者の評価に比べ、教職員の評価が低い。「あまりそう思わない」が26%ということを見ると、改善の余地が大いにある。「ICT機器を活用し」の部分で「活用できていない」と感じる教職員もいるので、研修等を通じて活用頻度が高まるようにしていきたい。</p> |
| | 児童 | ④私は、授業で学習用端末を使って、考えを深めたり広げたりして、積極的に授業に参加している。 | <p>①55% ②35% ③10% ④50% ⑤0%</p> | <p>課題解決への方策</p> <p>・ICT支援員と連携して、使用方法だけでなく実際の授業で使えるような内容の職員研修を計画、実施していく。</p> |
| | 保護者 | ④学校は、授業で学習用端末を使って、考えを深めたり広げたりする、授業を行っている。 | <p>①56% ②38% ③4% ④2% ⑤0%</p> | <p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>・以前なら友達が発表するときには「発表を聞くときにはその人の顔を見て」と指導していたと思うが、(タブレットが入ってから)友達が発表していてもタブレットの画面を見ていて声だけ聞いている子が多くなった。先生によっては「画面を見るのをやめて、友達の発表を聞くよ」と声をかけていることもある。かと言って、授業の全部でそう言っていたら授業の流れもいちいち止まってしまうので、要は担任の先生が声かけでバランスをとっていくことが大事なのだと思う。</p> <p>・昨年度より授業中にICTを活用していることが増えた印象である。</p> <p>・ICTを使ったから学力がついたかという疑問に思う部分もある。たとえば漢字。ミライシードで漢字練習をしているところを見かけるが、ただ画面上をなぞっているだけで本当に身につけているのか？と思うことがある。以前は漢字ノートにたくさん書いて、苦労したから覚えているということもあったので。</p> <p>・(授業を参観して)ICTと黒板をうまく併用しているところがよかった。</p> |
| | 地域 | ④学校は、授業で学習用端末を使って、考えを深めたり広げたりする、授業を行っている。 | <p>①50% ②50% ③4% ④2% ⑤0%</p> | |

長久保

小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

| 領域 | 対象 | 質問項目 | 評価結果 | 評価・考察 |
|----|-----|--|-------------------------------|--|
| 体力 | 教職員 | ⑤私(学校)は、体育の授業を中心として、体育的行事の充実や運動機会の確保に努め、児童の体力向上を図っている。 | <p>①58% ②32% ③11% ④5% ⑤0%</p> | <p>評価結果についての分析・課題</p> <p>肯定的な評価も多いが、否定的な評価も少なからずある。教職員や児童の評価に比べ、保護者の評価は「そう思う」の方が少ないことから、体育的行事の充実や運動機会の確保への期待が高いと考え、更なる体力向上の方法を考えていく。</p> |
| | 児童 | ⑤私は、体育や休み時間に、校庭や体育館などでいろいろな運動をして、体力をつけようと努力している。 | <p>①62% ②27% ③9% ④2% ⑤0%</p> | <p>課題解決への方策</p> <p>現在の体育の授業や体育朝会等の取組を引き続き行うとともに、委員会やクラスの取り組みなどを充実させるべく、取り組んでいく。児童が楽しみながら取り組み、その結果体力もつくような方法を考えていきたい。</p> |
| | 保護者 | ⑤学校は、体育の授業を中心として、体育的行事の充実や運動機会の確保に努め、児童の体力向上を図っている。 | <p>①42% ②50% ③7% ④1% ⑤0%</p> | <p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の「放課後サロン」に来ている子ども達を見ていると、とても元気で、体力があるなど思う。 ・持久走大会は現在、「持久走記録会」だが、結果がわかりにくく、がんばりたい子にとっては張り合いがない。はっきりと勝ち負けがわかるように、以前のような持久走大会に戻してはどうか。競争や勝ち負けとかを体験できるといい。 ・放課後に校庭で遊べるのなら、その自由な遊びの中で競争や勝ち負けも体験できるのではないかと。 ・さまざまな体育的行事で、保護者が応援にいくことができるようにしてほしい。 ・行事の中で、人手が足りないのなら、行事の都度、保護者のボランティアを募ってはどうか？保護者の中には、常時はできなくても「手伝いたいな」と思っている保護者も案外いると思う。 |
| | 地域 | ⑤学校は、体育の授業を中心として、体育的行事の充実や運動機会の確保に努め、児童の体力向上を図っている。 | <p>①83% ②17% ③0% ④0% ⑤0%</p> | |

長久保

小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

| 領域 | 対象 | 質問項目 | 評価結果 | 評価・考察 |
|-------|-----|---|--------------------------------|--|
| 生徒指導① | 教職員 | ⑥私は、児童の生徒指導上の課題等に対して、組織的に、家庭と連携・協力しながら対応している。 | <p>①47% ②47% ③5% ④0% ⑤0%</p> | <p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校では様々なトラブルに対し、組織的に取り組んでいるが、その取り組みや指導の内容が児童にも保護者にもうまく伝わっていない部分がある。引き続き家庭との連携を強化しながら、「児童にとって一番いい方法」を模索していく。また、児童に対しては何かトラブルがあった時に安心して相談できる関係が作れるようにする。 |
| | 児童 | ⑥私は、いじめやトラブルなどの問題に対して、先生やおうちの人に相談し、一緒に解決しようとしている。 | <p>①42% ②34% ③13% ④11% ⑤0%</p> | <p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童のことで日々困っていることや悩み等が相談できるよう、毎月の教育相談日やスクールカウンセラーの来校日等を積極的に周知する。 ・引き続き家庭との連絡を密にする。 |
| | 保護者 | ⑥学校は、いじめやトラブルなどの問題に対して、組織的に、家庭等と連携・協力しながら対応している。 | <p>①38% ②48% ③12% ④2% ⑤0%</p> | <p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の評価の中で「あまりそう思わない」「そう思わない」と答えている児童が結構多いことが心配である。 ・児童館などでも「聞いて。聞いて。」と言って相談したり、心にあることを話してスッキリして帰っていく子もいる。地域の中にもそのように相談できる場所があることも大事。だが、やはりまずは分析の中にもあるように何かトラブルがあった時に安心して相談できる関係づくりを学校でも進めてほしい。 |
| | 地域 | ⑥学校は、児童の生徒指導上の課題等に対して、組織的に、家庭等と連携・協力しながら対応している。 | <p>①17% ②83% ③0% ④0% ⑤0%</p> | |

長久保

小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

| 領域 | 対象 | 質問項目 | 評価結果 | 評価・考察 |
|-------|-----|--|-------------------------------|---|
| 生徒指導② | 教職員 | ⑦私は、児童のよさや可能性の伸長を図り、成長やつまずき、悩み等の理解に努めている。 | <p>①53% ②42% ③5% ④50% ⑤0%</p> | <p>評価結果についての分析・課題</p> <p>・概ね肯定的な評価だが、「あまりそう思わない」「そう思わない」の評価に目を向け、引き続き児童の可能性やよさの伸長を図る。また、児童には自己肯定感や自信を高める指導を続けていく。</p> |
| | 児童 | ⑦私は、自分のよさや可能性を伸ばしたり、友達との関わりを大切にしながら、自分の目標に向かって行動したりしている。 | <p>①52% ②38% ③9% ④1% ⑤0%</p> | <p>課題解決への方策</p> <p>・児童と関わる時間を多く確保できるよう業務改善を進める。 ・家庭への連絡は悪いことを伝えるばかりではなく、よいことも積極的に伝え、児童の成長とともに見守る関係を構築する。</p> |
| | 保護者 | ⑦学校は、児童のよさや可能性の伸長を図り、成長やつまずき、悩み等の理解に努めている。 | <p>①42% ②45% ③12% ④1% ⑤0%</p> | <p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>・子ども達自身は自分ががんばっていると思って評価しているのだから、学校はそれをもっと保護者に伝えていくといいのではないかな。</p> |
| | 地域 | ⑦学校は、児童のよさや可能性の伸長を図り、成長やつまずき、悩み等の理解に努めている。 | <p>①33% ②67% ③4% ④50% ⑤0%</p> | |

長久保

小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

| 領域 | 対象 | 質問項目 | 評価結果 | 評価・考察 |
|--------|-----|--|-------------------------------|---|
| 特別支援教育 | 教職員 | ⑧私は、一人一人の特性の理解に努め、家庭と連携・協力しながら道具や工夫を取り入れ、個に応じた指導方法を積極的に取り入れている。 | <p>①16% ②74% ③11% ④5% ⑤0%</p> | <p>評価結果についての分析・課題</p> <p>・概ね肯定的な評価ではあるが、教職員の「そう思う」の割合が少ない。一人一人と向き合う時間が確保できるよう努め、自信をもって「そう思う」と答えられるようさらに研修を重ねる。</p> |
| | 児童 | ⑧私は、苦手なことなどを、先生やおうちの人に相談し、一緒に解決しようとしている。 | <p>①43% ②37% ③14% ④6% ⑤0%</p> | <p>課題解決への方策</p> <p>・新しい道具を求めるのではなく、現在ある教具や学習端末等を最大限利用できるような工夫を学校全体で研修していく。</p> |
| | 保護者 | ⑧学校は、一人一人の特性の理解に努め、家庭と連携・協力しながら道具や工夫を取り入れ、個に応じた指導方法を積極的に取り入れている。 | <p>①31% ②53% ③15% ④1% ⑤0%</p> | <p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>・特別支援学級に関わる保護者の方から聞いた話では、特別支援学級に在籍する子は人や環境が変わることにとってもストレスを感じるとのこと。継続的にかかわってくれる人を求めているそうである。 ・今年度は、なかよし学級でもしめ縄づくりを行い、地域と学校が関わることができた。要請があるなら地域や学校応援団がどんどん関わっていきたい。</p> |
| | 地域 | ⑧学校は、一人一人の特性の理解に努め、家庭と連携・協力しながら道具や工夫を取り入れ、個に応じた指導方法を積極的に取り入れている。 | <p>①17% ②83% ③4% ④0% ⑤0%</p> | |

長久保

小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

| 領域 | 対象 | 質問項目 | 評価結果 | 評価・考察 |
|------------|-----|--|-------------------------------|---|
| 地域とともにある学校 | 教職員 | ◎私は、学校運営協議会・学校応援団の意義や保護者・地域等との活動の重要性を理解し、地域とともにある学校づくりに努めている。 | <p>①42% ②53% ③5% ④⑤0%</p> | <p>評価結果についての分析・課題</p> <p>・学校応援団の御協力は実際に目に見えるため、その意義や重要性がわかるものの、学校運営協議会の意義や取組が周知できておらず、活動の重要性が伝わっていないことが考えられる。</p> |
| | 児童 | | | <p>課題解決への方策</p> <p>・学校応援団と同様に学校運営協議会についても広く周知していく必要がある。手紙やホームページを活用したり、校内に掲示したりして積極的に周知していきたい。</p> |
| | 保護者 | ◎私は、学校運営協議会・学校応援団の意義や保護者・地域等との活動の重要性を理解し、地域とともにある学校づくりに協力している。 | <p>①27% ②51% ③20% ④2% ⑤0%</p> | <p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>・自治会や地域のお年寄り、支え合い協議会などとも関わっていく機会があるとよい。 ・学校応援団の地域への周知の方法だが、回覧板だけでは弱い。自治会に加入していなければ回覧板が回ってこない。</p> |
| | 地域 | ◎私は、学校運営協議会・学校応援団の意義や保護者・地域等との活動の重要性を理解し、地域とともにある学校づくりに努めている。 | <p>①67% ②33% ③④⑤0%</p> | |

長久保

小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

| 領域 | 対象 | 質問項目 | 評価結果 | 評価・考察 |
|-------|-----|--|----------------------------|---|
| 働き方改革 | 教職員 | ⑩私は、働き方改革の目的を理解し、業務改善を進め、心身ともに健康であるよう努めながら、教科指導や教育相談等に係る時間を増やし、教育の維持・向上に努めている。 | <p>①42% ②47% ③11% ④50%</p> | <p>評価結果についての分析・課題</p> <p>・働き方改革の目的は理解して、学校としても業務改善を進めているが、現状としてはなかなか思うように進んではいない。勤務時間内では終わらない仕事も多く、会議が重なることもある。児童のためには削減できない仕事もたくさんあるため、わかっているとはいえ実際にどこまで業務改善できるか悩ましいところではある。</p> |
| | 児童 | | | <p>課題解決への方策</p> <p>・ICTをうまく利用し、業務改善を引き続き行う。 ・学校だけでは業務改善が難しい部分もある。学校だよりやホームページを使って保護者や地域への周知をし、働き方改革へのご理解がいただけるよう工夫する。</p> |
| | 保護者 | | | <p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>・ICTが入って便利になることもある反面、地域によって使うPCや導入しているシステムが違うから、そのたびに使い方を覚えなければならず、かえって先生方の負担は増えるのではないかと。 ・留守番電話の導入により、夜間の電話は減ったとのことなので、それはよかった。</p> |
| | 地域 | | | |